

保存版

Study
DESK
スタディデスク

Pierna
separate
ピエルナ セパレート

865EDG / デスク

組立・取扱説明書【保証書付】

このたびはオカムラスタディデスクをお買い上げいただき、誠に有難うございます。
この組立・取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解された上、正しく組立てご使用いただくようお願いいたします。

安全に末永くお使いいただくためのご注意（必ずお守りください）



警告

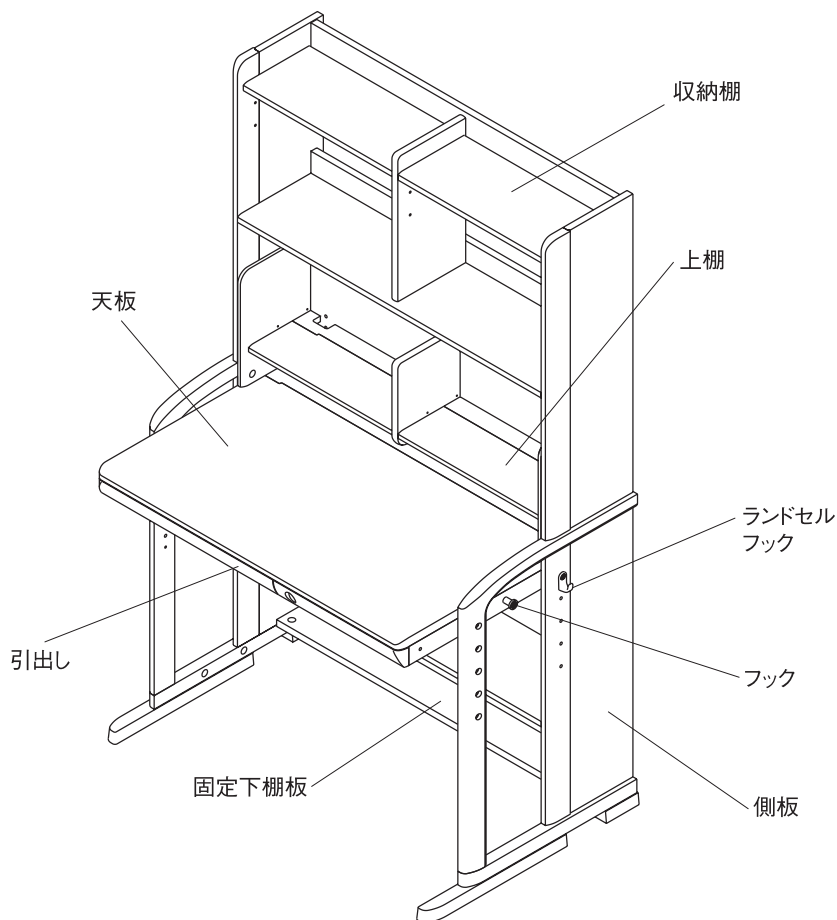
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が想定される内容を表しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表しています。

組立て完成図（各部の名称）



okamura

警告

電灯の取扱いに関しては下記事項をお守りください。 誤った取扱いをすると感電や火災の恐れがあります。

- 煙が出たり、変な臭いがした場合はすぐにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグやコンセント周りのゴミやほこりは乾いた柔らかい布でよく拭いて取り除いてください。発火や火災の原因となることがあります。
- 電源コードを無理に曲げたり、引張ったりしないでください。コードが破損し、火災、感電の恐れがあります。
- 蛍光管や電球交換時は電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 器具のスキマやソケット部に金属類（ヘアピンや針金等）を絶対に挿入しないでください。感電や火災の原因となります。

- 水をかけたり、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。（水は電気を通しやすいので感電の恐れがあります。また、足元が濡れている場合は、一層感電しやすくなりますのでご注意ください。）
- 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 修理技術者以外の人が機器を分解したり、修理・改造は絶対に行わないでください。感電や漏電等の事故、故障の原因となります。

定格電圧	100V
定格消費電力	20W
定格周波数	50/60Hz

注意

組立て上のご注意

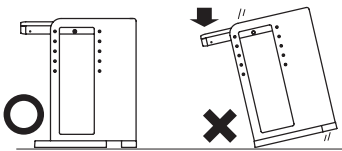
- 説明書をよくお読みの上、組立て部品を残さず使用し、ネジはドライバーで確実にしめ、正しく組立ててください。組立てが不完全ですと、転倒事故や破損の原因となり危険です。
- 組立ての際は、電動ドライバーを使用しないでください。必要以上の力がかかると商品が傷ついたりボルトが外せなくなる恐れがあります。
- 組立てパターンにより、使用しない部品、部材が生じる場合があります。組替え時には必ず必要になるため、大切に保管してください。部品紛失の場合は再度ご購入していただくこととなりますのでご注意ください。
- 組立て後、平ら場所にて製品の本締めを行い、各部がしっかり取付いているか確認してください。

取扱い上のご注意

- この製品を乱暴に取扱ったり用途以外での使用はしないでください。
- 製品のいずれの場所にも絶対に体重をかけたり、乗ったりしないでください。転倒および破損の原因となり大変危険です。
- 鍵は開け閉めの際、深く差し込んでから回してください。また、回し過ぎないようにしてください。鍵や錠が破損する恐れがあります。
- 製品に載せるものの重さは必ず最大積載質量以内にしてください。最大積載質量より重いものを載せると、転倒や破損の原因となり大変危険です。

天板最大積載質量 40kg (等分布静荷重)

- 天板を拡張してご使用になる場合は、必ずスキー脚も手前に伸ばしてください。



据え付けのご注意

- 水平な安定した場所を選んで設置してください。床が傾斜している場所や不安定な場所で使用しますと、転倒や事故の原因となり危険です。
- 日光が直接あたる所、温度の高い所や湿気の多い所での使用は変質・変形・変色のもととなりますので避けてください。
- 製品の据え付け及び移動するときは、床を引きずらないで、必ずお二人で持ち上げて行ってください。（床を傷つける原因となります。）

末永くお使いいただくために

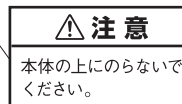
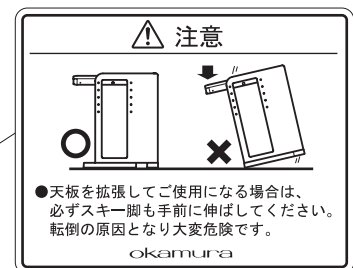
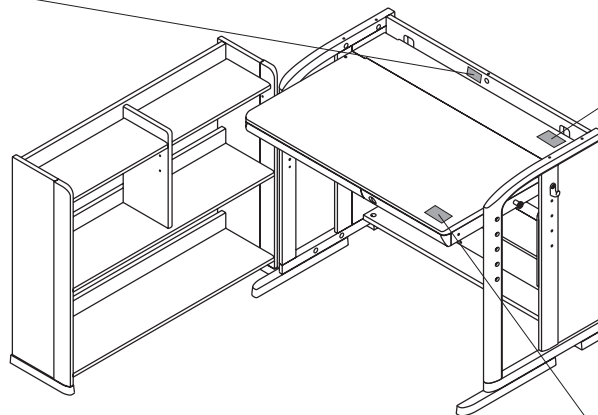
- 熱いものを直接製品の上に乗せないでください。変質・変形・変色の原因となります。
- 製品にはシールやセロテープ等を貼付けないでください。表面材がはかれる原因となります。
- 硬いもので製品をこすったり、下敷きなどを使用せずにボールペンなどの先の硬いもので書きものをしないでください。変形・キズの原因となります。
- 製品の上をぬらしたままにしたり、ぬれた布などを放置しないでください。表面材のソリやフクレの原因となります。ぬれた場合は水分が残らないようにすぐにふき取ってください。
- 金具がゆるんだまま使用していると、変形・破損および転倒の原因となり大変危険です。定期的金具がゆるんでいないか点検し、ゆるみの箇所はしっかりと締め直してください。
- 本製品は素材特有の臭いがありますので、定期的に換気することをおすすめします。

お手入れについて

- 硬くしぼった布でふいてください。汚れがひどい時は中性洗剤をうすめてふき取り、あとで洗剤が残らないよう、硬くしぼった布できれいにふき取ってください。絶対に水分が残らないようにしてください。
- アルコールやシンナー系の溶剤は表面を傷めますので絶対に使用しないでください。

警告ラベルの位置と内容

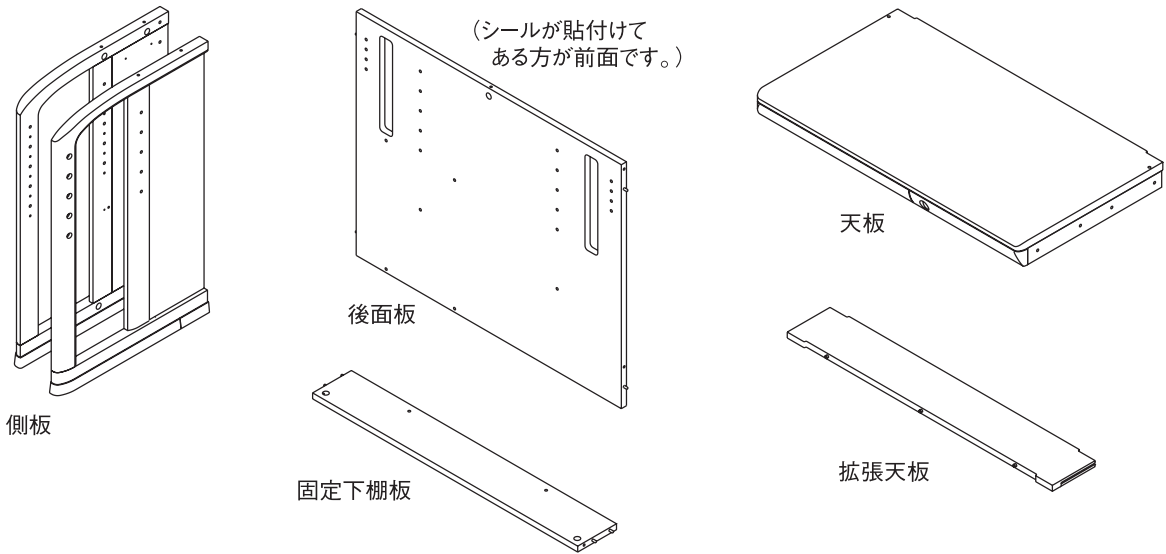
上側
前面に組付け


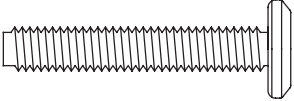


※警告ラベルは剥がさないでください。

部品明細 (組立て前に必ずご確認ください)

デスク



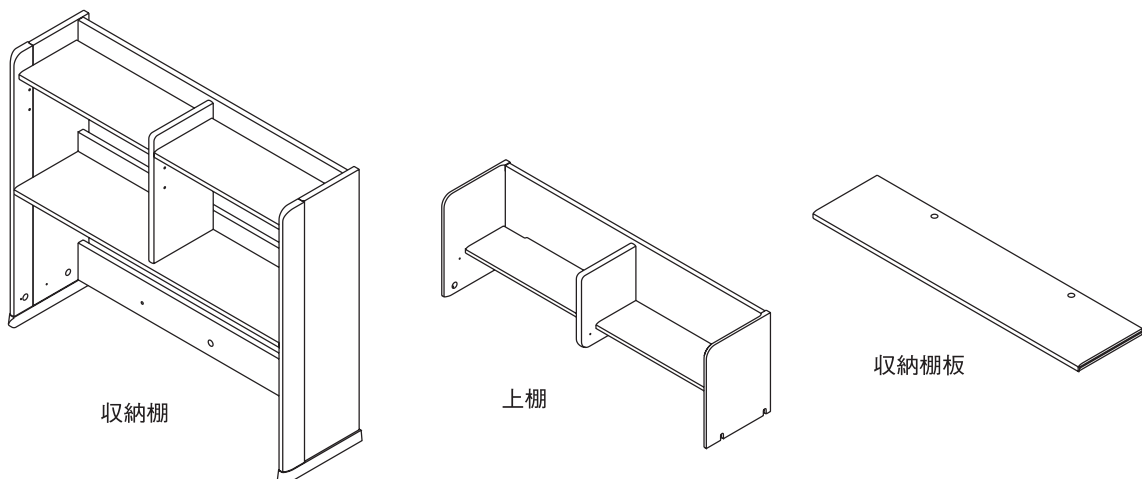
コネクトボルト (M6×35mm)	実物大
 ×10	

キャップ (回転金具用)
 ×10

棚受けワイヤー ×4	樹脂ダボ ×4	ダボ (ネジ式) ×4	フック ×2	キャップ小 ×8	キャップ大 ×5
連結ボルト ×10	連結ボルト (両側) ×5	リング ×6	ランドセルフック (ボルト付) ×1	キー ×2	ペントレイ ×1

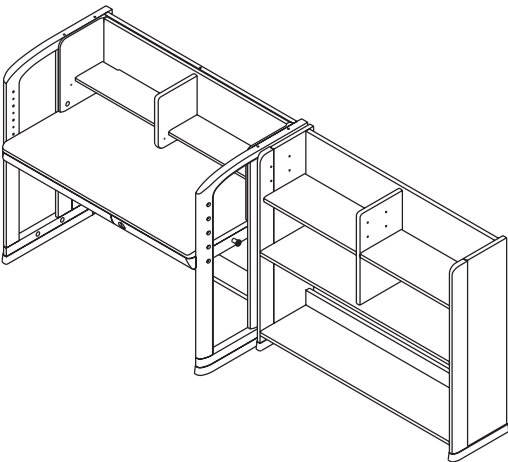
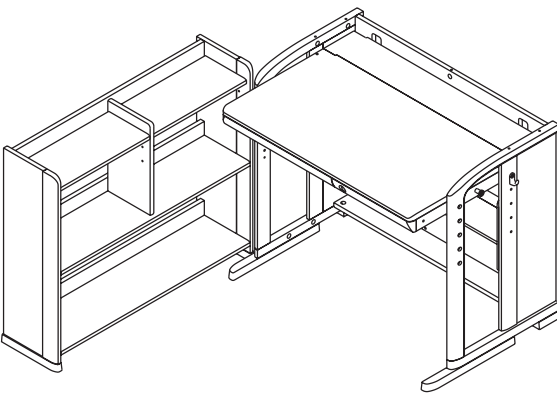
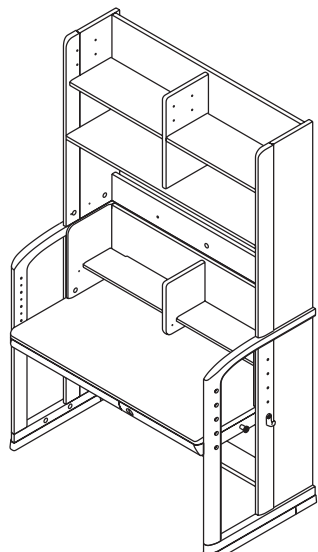
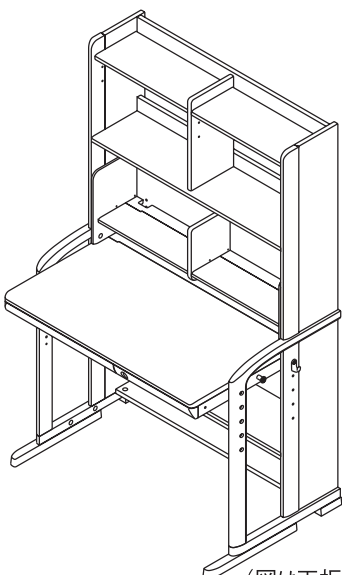
お願い:組立てには⊕ドライバーを使用しますのでご注意ください。
 電動ドライバー等の電動工具を使用すると、商品を破損させる恐れがありますので、手回しのドライバーを使用してください。

収納棚



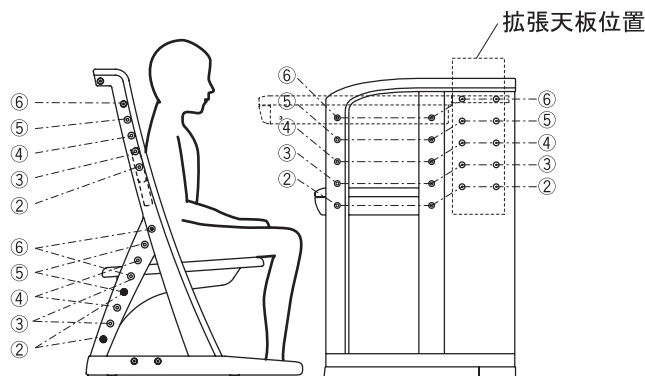
デスクの組立てパターン

- このデスクは大きく分け、4つの組立てパターンがあります。
まず、どのパターンで組立てるのかを決めてから、組立て始めてください。
組立ての手順は下図を参考に、そのページに説明されています内容を順に組上げてください。
※他の組立てパターン要素として、デスク天板高さ、上棚位置、などを決める必要があります。
その部を組立てる前までに決めておいてください。

		天板奥行き	
		コンパクト (550mm)	拡張 (700mm)
セパレート	収納棚	 <p>(図は天板高2号の場合)</p> <p>組立て詳細は P5 → P6 → P8 の順にご覧ください。</p>	 <p>(図は天板高6号の場合)</p> <p>組立て詳細は P5 → P7 → P8 の順にご覧ください。</p>
		 <p>(図は天板高2号の場合)</p> <p>組立て詳細は P5 → P6 → P10 の順にご覧ください。</p>	 <p>(図は天板高6号の場合)</p> <p>組立て詳細は P5 → P7 → P10 の順にご覧ください。</p>
ハイユニット			

デスク天板の高さについて

- オカムラピエルナシリーズデスクは学校用家具のJIS規格2号(身長約120cm)から6号(身長約180cm)に対応して、5段階で天板高さを調整することができます。
- 全ての組立てパターンにおいて天板の高さを調節することができます。
- 別売で専用のイスをご用意しています。デスクと組み合わせることにより、適正な位置でご使用できます。
- 側板内側の棚受けワイヤー差込み穴、樹脂ダボ穴の号数は、上から順に⑥～②号となります。

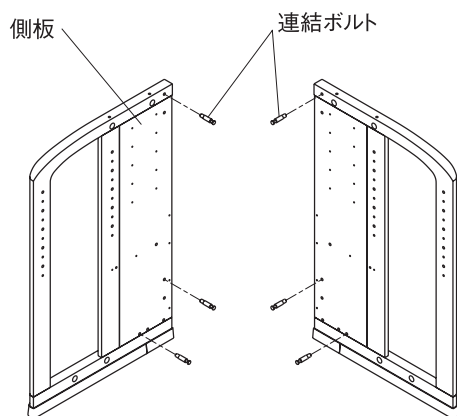


お子様の身長に合わせた高さをお選びください。

号数		②	③	④	⑤	⑥
標準身長		1 2 0	1 3 5	1 5 0	1 6 5	1 8 0
机	天板の高さ	5 2	5 8	6 4	7 0	7 6
	座面の高さ	3 0	3 4	3 8	4 2	4 6
イス	座面の奥行き	2 9	3 3	3 6	3 8	4 0

デスクの組立て方法

1 側板への連結ボルトの取付け



- ① 左右それぞれの側板に3ヶ所ずつ、連結ボルトをねじ込みます。

〈回転金具について〉

回転金具(部材に埋め込まれています)



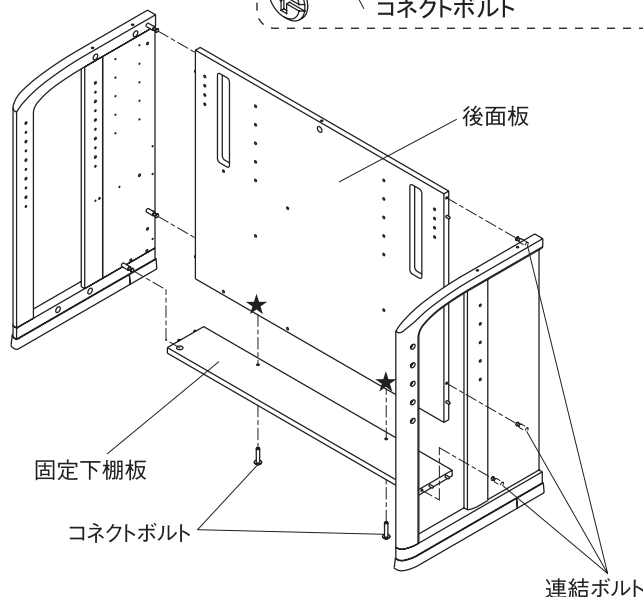
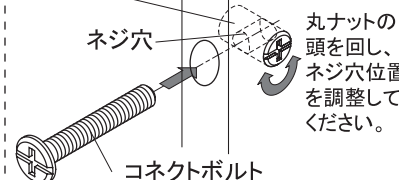
右に回すと締ります。
左に回すと緩みます。

矢印
矢印を連結ボルトの方に
合せると連結ボルトが入り(外れ)ます。

2 側板・后面板・固定下棚板の取付け

※★印部には丸ナットが使用されています。
〈丸ナットについて〉

丸ナット(部材に埋め込まれています)

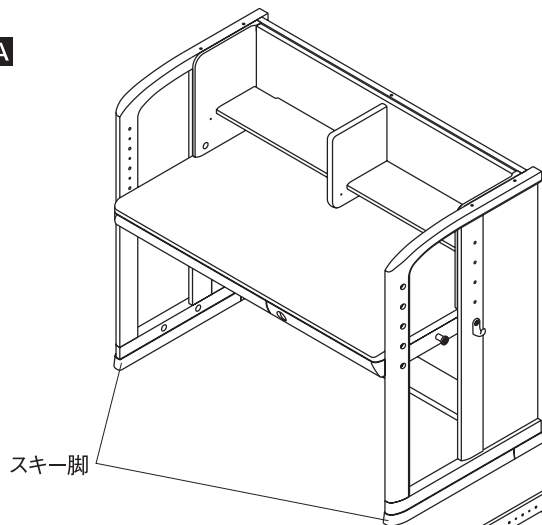


- ① 後面板と固定下棚板をコネクットボルトで連結します。
- ② 側板の左右3ヶ所ずつの連結ボルトに、後面板の側部木口の穴を合わせて挿し込みます。挿し込み後、回転金具を右に回し、締め付けてください(後面板は回転金具が見える方が後面となります)。

3-A 天板の取付け(コンパクト)

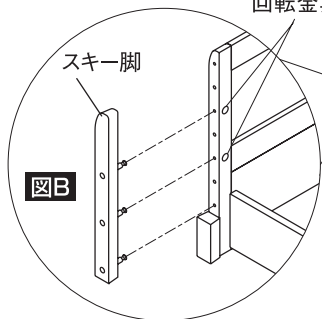
天板の高さはご使用される方の身長に合わせて5段階に調節ができます。P5の「デスク天板の高さについて」をご参考に天板高さを設定ください。

図A



スキー脚

回転金具



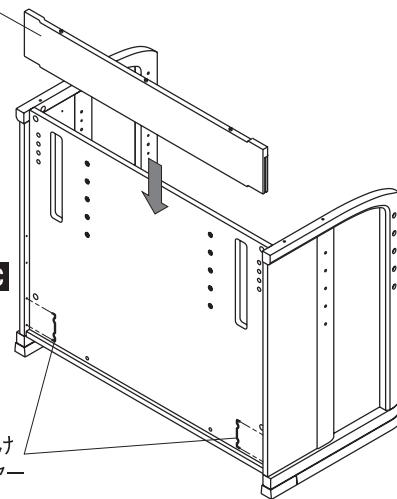
図B

スキー脚

拡張天板

図C

棚受けワイヤー

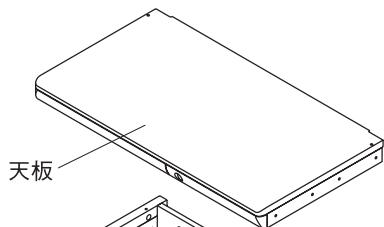


- ① スキー脚が図Aの位置になっているか確認してください。
- ② スキー脚位置を変更する時は、デスク本体を後ろに倒し、回転金具を左に回してスキー脚を取外し、図Bの位置に取付け、回転金具を右に回し締め付けてください。

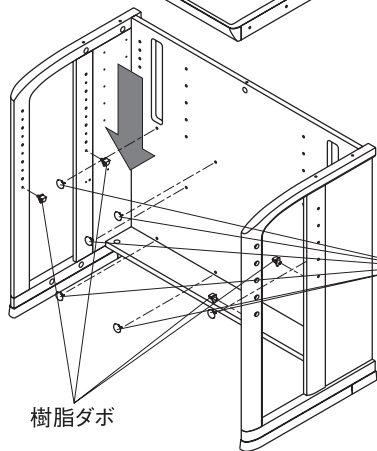
- ③ 棚受けワイヤーを後面下、図C位置に左右差込み、拡張天板を上からゆっくり落とし込んでください。

※天板上に照明を取付ける場合、天板を取付ける前に照明金具を取付ける必要があります。(P13参照)

※専用3段ワゴンの上部引出しユニットを天板下に取付ける場合、天板を取付ける前に上部引出しユニットを取付ける必要があります。(P12参照)



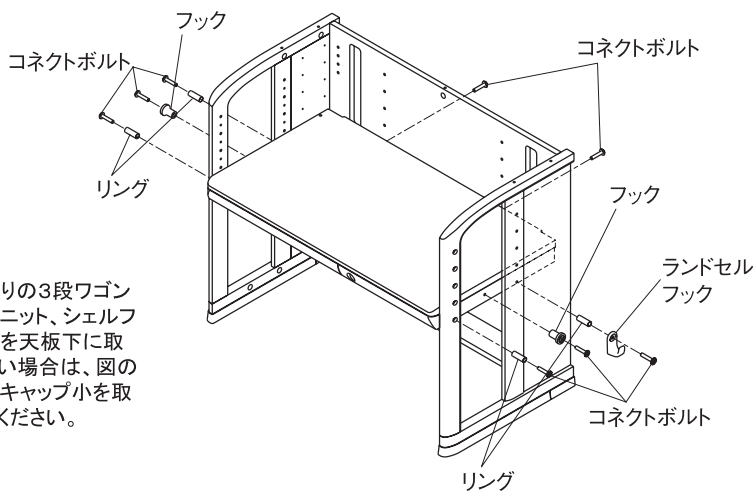
天板



樹脂ダボ

※別売りの3段ワゴン上部ユニット、シェルフの棚板を天板下に取付けない場合は、図の位置にキャップ小を取付けてください。

- ④ 天板高さを決め、その高さのダボ穴に樹脂ダボを取付けます。(側板4ヶ所) (樹脂ダボの差込み位置はP5を参照) 天板を樹脂ダボの上に乗せます。図の矢印の方向にスライドさせ位置させます。 ※すべての樹脂ダボを同じ高さを取付けてください。樹脂ダボの位置がずれていると、天板が落下して大変に危険です。

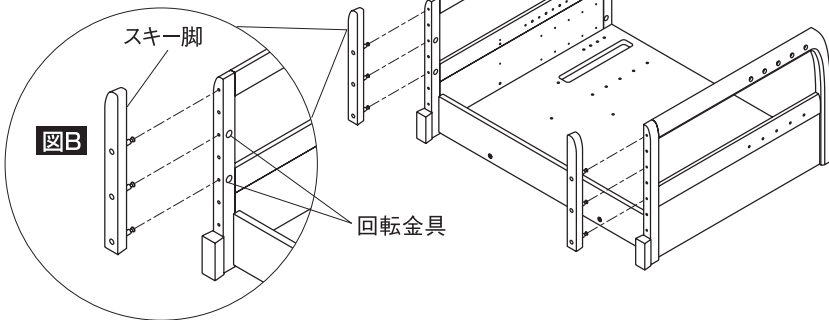
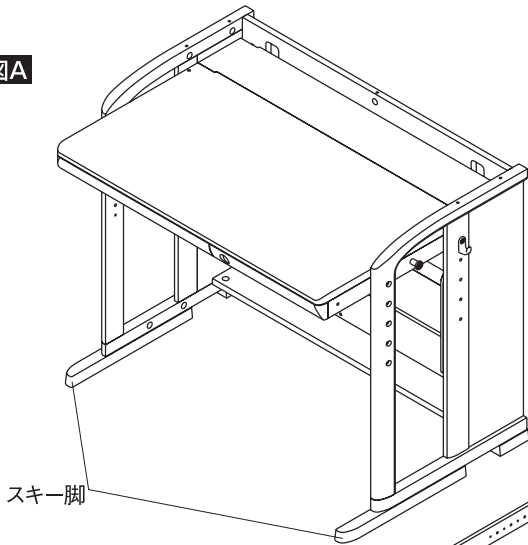


- ⑤ 天板の固定とフックの取付け 側板及び後面板の外側の穴にリングを挿し込み、コネクトボルトで締め付けます。 この時側板後側左右のどちらかにランドセルフックをはさみ込んで取付けることができます。 最後に、お好みで天板横左右にコネクトボルトでフックを取付けてください。(両側2ヶ所)。

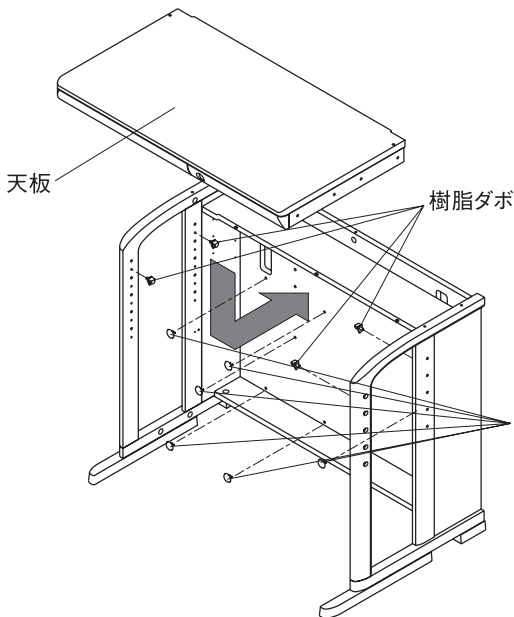
3-B 天板の取付け(拡張)

天板の高さはご使用される方の身長に合わせて5段階に調節ができます。P5の「デスク天板の高さについて」をご参考に天板高さを設定ください。

図A



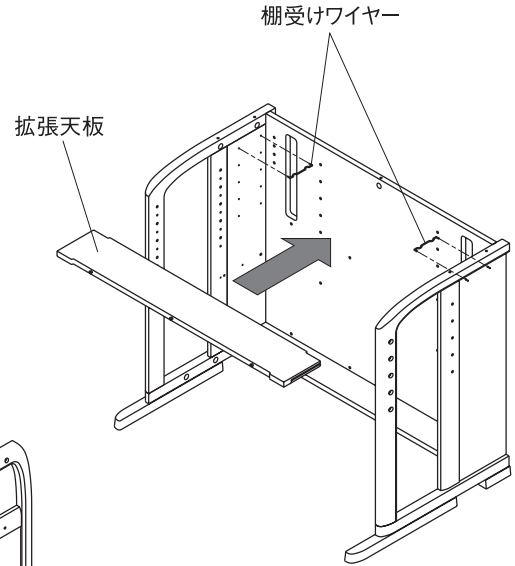
- ① スキー脚が**図A**の位置になっているか確認してください。
- ② スキー脚位置を変更する時は、デスク本体を後ろに倒し、回転金具を左に回してスキー脚を取外し、**図B**の位置に取付け、回転金具を右に回し締め付けてください。



※別売りの3段ワゴン上部ユニット、シェルフの棚板を天板下に取り付けない場合は、図の矢印の方向にスライドさせ仮置きします。
※すべての樹脂ダボを同じ高さに取付けてください。樹脂ダボの位置がずれていると、天板が落下して大変に危険です。

※専用3段ワゴンの上部引出しユニットを天板下に取付ける場合、天板を取付ける前に上部引出しユニットを取付ける必要があります。(P12参照)

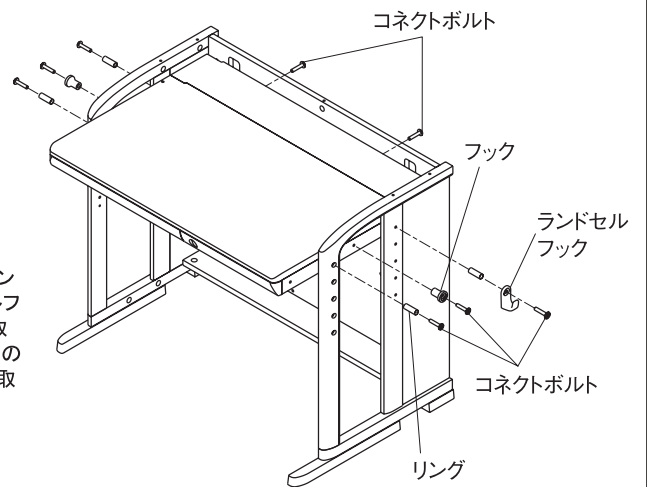
- ④ ③の高さに合わせたダボ穴に樹脂ダボを取付けます。(側板4ヶ所) (樹脂ダボの差込み位置はP5を参照) 天板ユニットを樹脂ダボの上に載せます。図の矢印の方向にスライドさせ仮置きします。
※すべての樹脂ダボを同じ高さに取付けてください。樹脂ダボの位置がずれていると、天板が落下して大変に危険です。



※拡張天板上に照明を取付ける場合、拡張天板を差込む前に照明金具を取付ける必要があります。(P13参照)

- ③ 側板内側に棚受けワイヤーを差し込み、拡張天板を入れ込んでください。(棚受けワイヤーの差込位置はP5参照) 拡張天板はダボを取付けてある方を正面に、警告ラベルの貼ってある方を表にしてください。

※コンパクトタイプから組換える場合、后面板の裏に拡張天板、棚受けワイヤーが収納されています。



- ⑤ 天板の固定とフックの取付け 側板及び后面板の外側の穴にリングを挿し込み、コネクトボルトで締め付けます。

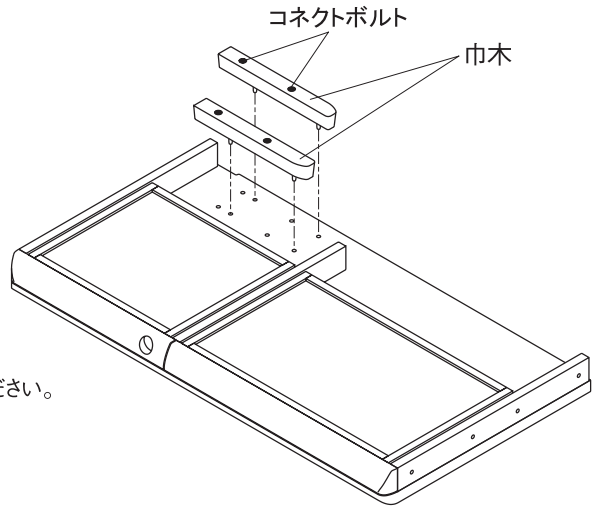
この時側板後側左右のどちらかにランドセルフックをはさみ込んで取付けることができます。最後に、お好みで天板横左右にコネクトボルトでフックを取付けてください。(両側2ヶ所)。

4-A 収納棚と上棚の設置方法(セパレート)

ハイユニットからセパレートに組み替える場合、収納棚をデスク本体から分離する必要があります。P10、11を参考に、逆の手順でデスク本体から収納棚および収納棚板を取外してください。

<収納棚の組立て>

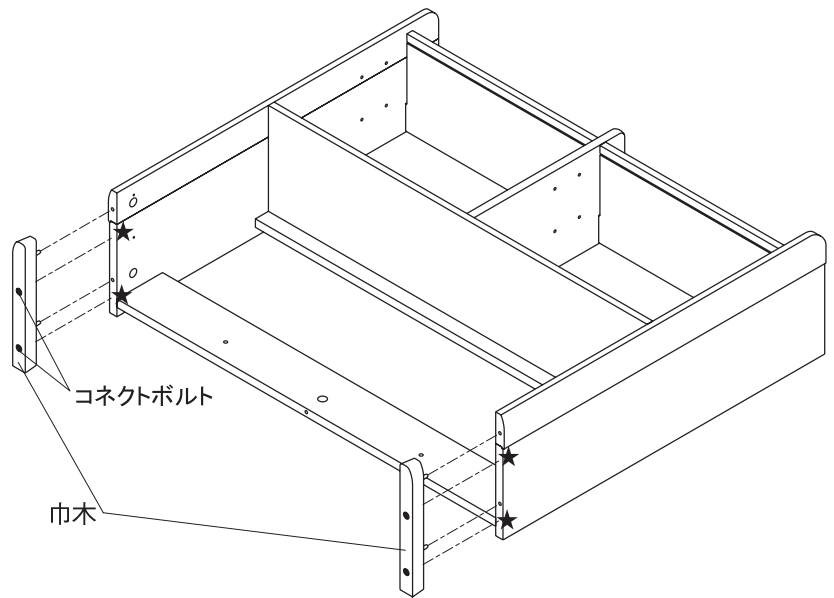
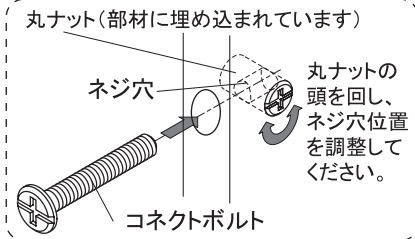
- ① 収納棚の巾木を確認してください。
巾木が取付いていない場合、天板裏に巾木が収納されています。
天板を裏返し、コネクtpボルトを緩めて巾木を取外してください。
- ⚠注意 天板から巾木の取外しは必ず天板を取外した状態で行ってください。
落下してケガをする恐れがあります。
- ※巾木のコネクtpボルトは外れない構造になっています。



- ② 収納棚の側板に巾木を取付けます。
収納棚本体を後ろに倒し、巾木のコネクtpボルトを締め込んでしっかり固定してください。

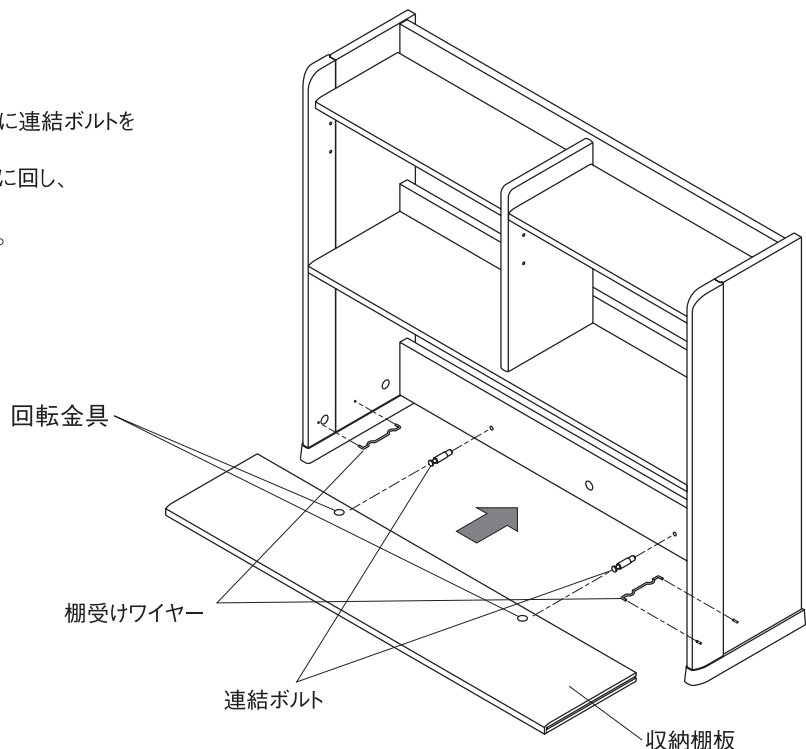
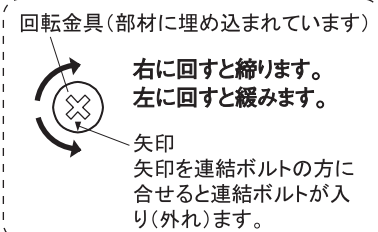
※★印部には丸ナットが使用されています。

<丸ナットについて>



- ③ 収納棚板を取付けます。
側板内側に棚受けワイヤーを差込み、後面板に連結ボルトを差込みます。
収納棚板を前から入れ込んで、回転金具を右に回し、しっかり固定してください。
※収納棚板は回転金具の見える面が上面です。

<回転金具について>



P9へつづく➡

4-A 収納棚と上棚の設置方法 (セパレート)

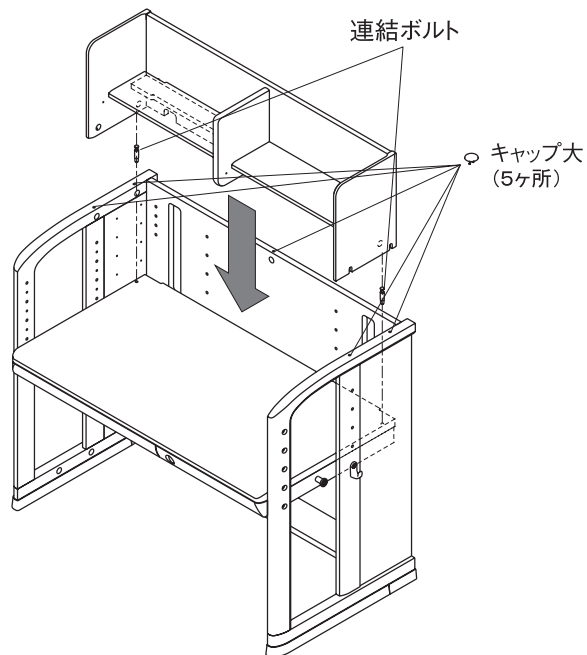
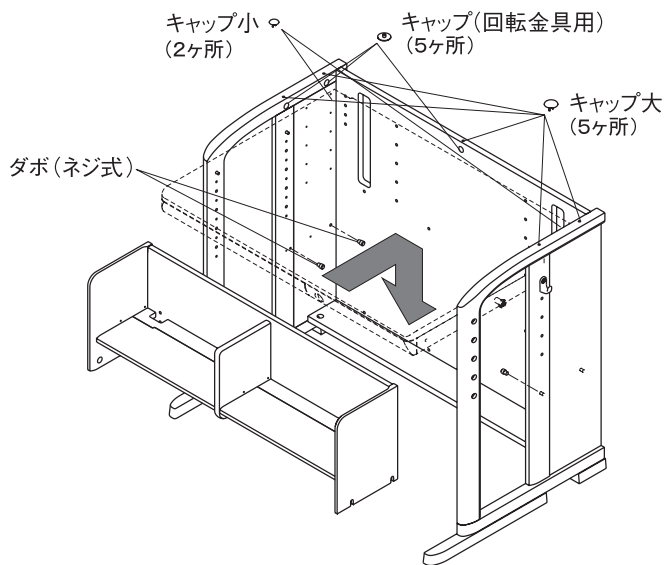
<上棚の取付け>

上棚は下の3ヶ所に取付けることができます。
お好みの場所に設置してください。

△注意 ご使用中に上棚の設置場所をかえる場合には、
棚上の物をすべておろして行ってください。

●天板上に取付ける。

- ①天板上、図の位置に連結ボルトを2ヶ所ねじ込みます。
- ②天板上の連結ボルトに側板木口穴を合わせて上棚を設置し、回転金具を右に回して締め付けてください。
- ③側板・后面板上面の穴にキャップ大を取付けます。



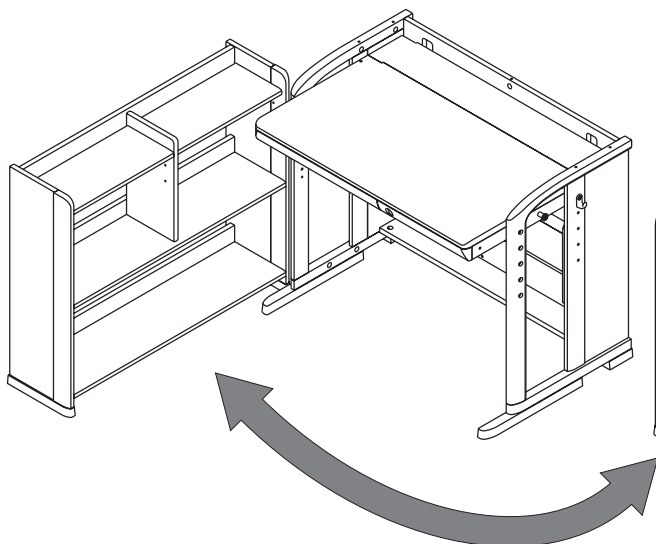
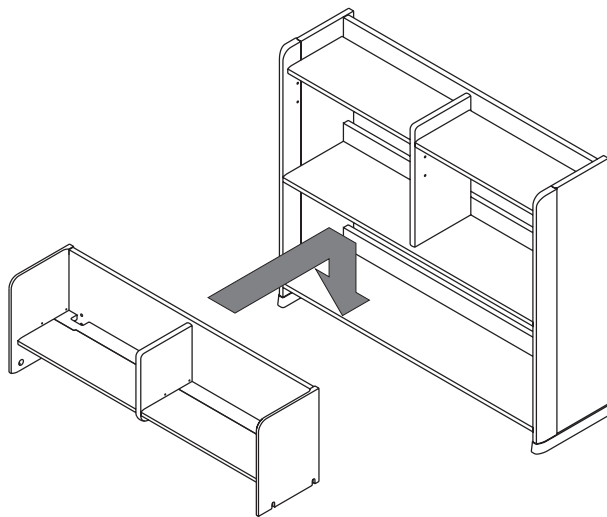
●天板下に取付ける。

※天板高さ6号の時のみ天板下に設置することができます。

- ①ダボ(ネジ式)を側板内側のダボ取付け穴にねじ込みます。
- ②上棚側板のダボ受け溝にダボを合わせるように上棚を設置します。
- ③天板上に連結ボルトが残っている場合、
連結ボルトを外し、ナット穴にキャップ小を取付けます。
外した連結ボルトは大切に保管してください。
※この時、3段ワゴンの引出しユニットはデスクから取外してください。
- ④側板、后面板上面の穴にキャップ大を、側面の回転金具にキャップ(回転金具用)をそれぞれ取付けます。

●収納棚に取付ける

- ①上棚を収納棚の図の位置に置きます。
- ②天板上に連結ボルトが残っている場合、
天板上の連結ボルトを外し、ナット穴にキャップ小を取付けます。
外した連結ボルトは大切に保管してください。



●収納棚をセパレート型とすることで、自由に
配置をアレンジすることができます。
お好みの位置でご使用ください。

4-B 収納棚と上棚の設置方法 (ハイユニット)

① 収納棚の巾木を確認してください。

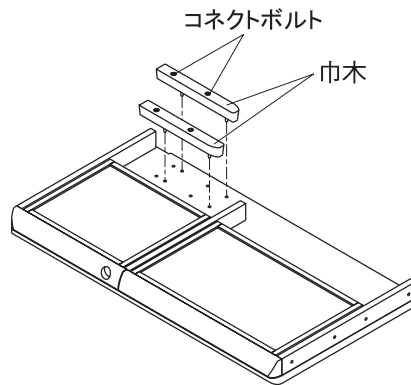
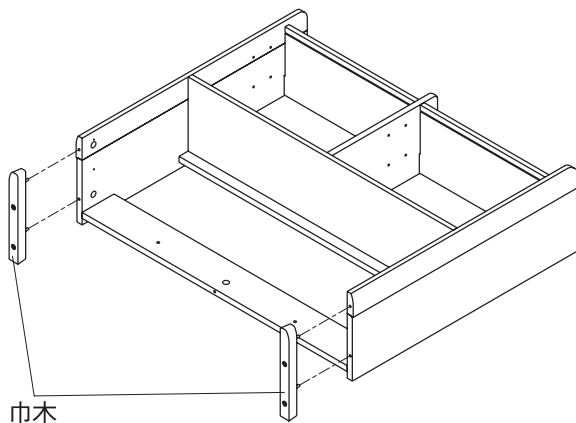
巾木が取付いている場合、天板の裏に巾木を収納する必要があります。

巾木を収納する場合、収納本体を後ろに倒し、コネクtpボルトを緩めて巾木を取外してください。

次に、天板を裏返し図の位置にコネクtpボルトを締め込んで巾木を固定してください。

△注意 巾木の取付けは、必ず天板を取外した状態で行ってください。
落下してケガをする恐れがあります。

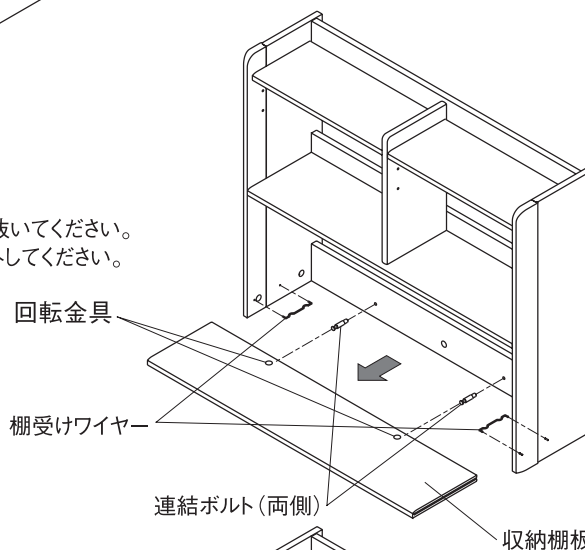
※巾木のコネクtpボルトは外れない構造になっています。



② 収納棚板を取り外します。

収納棚板の回転金具を緩め、前方に引き抜いてください。

棚受けワイヤーと連結ボルトをそれぞれ取外してください。



③ デスクの後面板、側板の図の位置5ヶ所に連結ボルト (両側) を差込み、回転金具で固定します。

連結ボルト (両側) には方向性があります。長いボルトが上向きになるように

差込んでください。

※連結ボルト (両側) のリングが板と接していることを確認してください。

連結ボルトがきちんと固定されておらず、リングが浮いた状態では

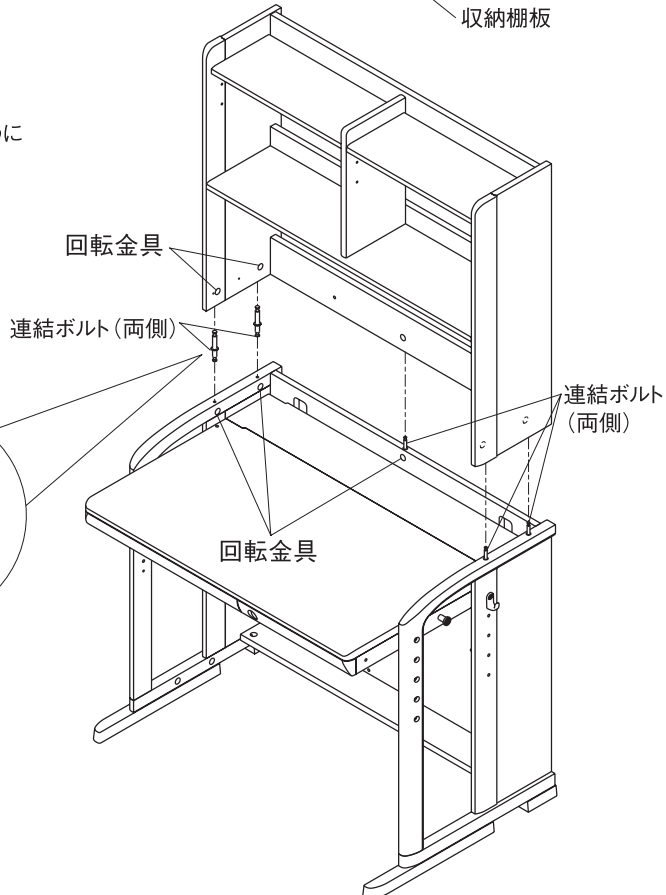
収納棚を取付けることができません。

デスクの後面板、側板の連結ボルト (両側) に収納棚の底面を

あわせて設置し、回転金具を右に回して締め付けてください。

固定後、計10ヶ所の回転金具がすべて締まっていることを

十分に確認してください。



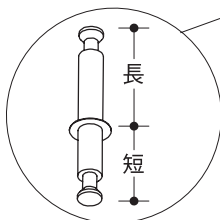
〈回転金具について〉

回転金具 (部材に埋め込まれています)



右に回すと締まります。
左に回すと緩みます。

矢印
矢印を連結ボルトの方に
合せると連結ボルトが入り
(外れ)ます。

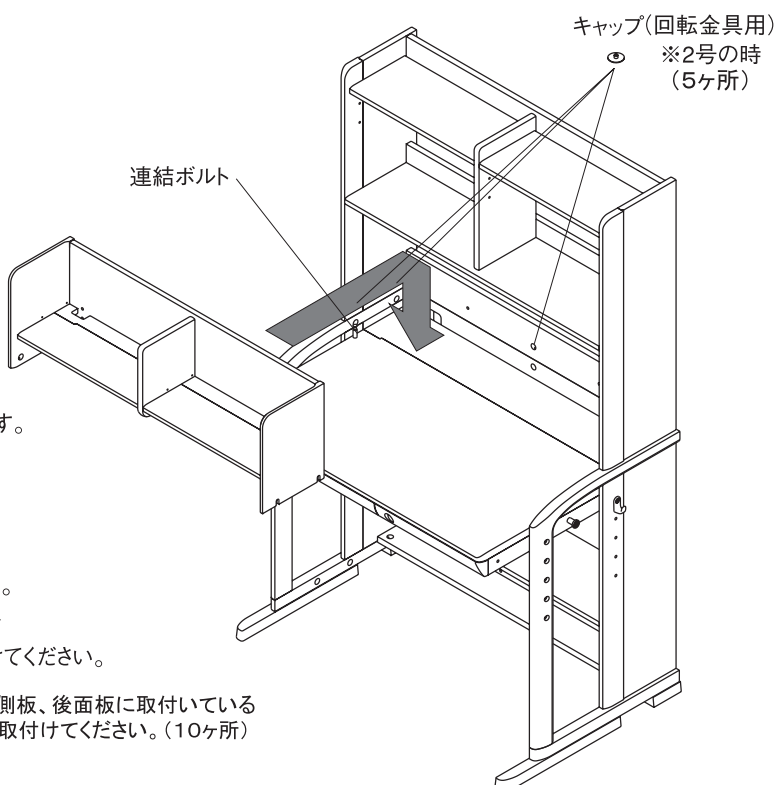
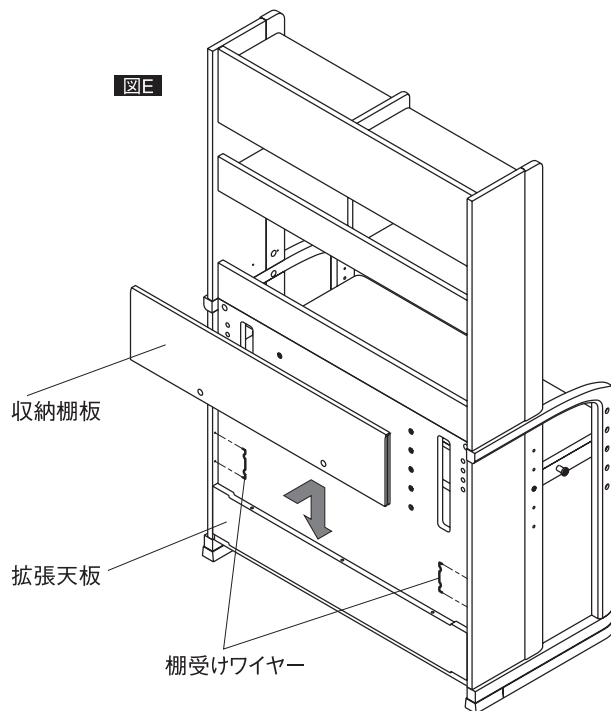
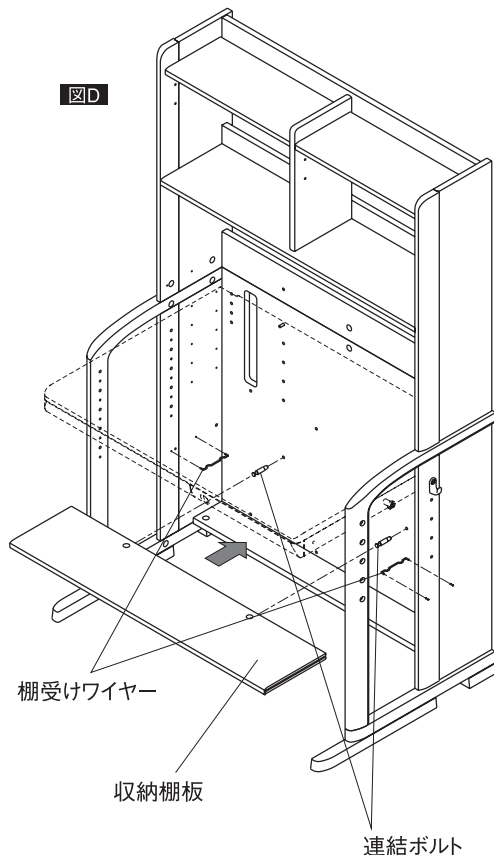


4-B 収納棚と上棚の設置方法(ハイユニット)

- ④ 収納棚板は天板下に取付けることができます。
取付けは **図D** の位置に②の逆の手順で行ってください。

収納棚板を使用しない場合、デスクの後面板裏、**図E** の位置に収納することができます。
棚受けワイヤーを後面上位置に差込み、収納棚板を上からゆっくり差込んでください。

※ 拡張天板と同時に収納する場合、収納位置に注意してください。



<上棚の取付け>

- 天板上に取付ける。
 - ① 天板上の図の位置左右に連結ボルトを2ヶ所ねじ込みます。
 - ② 天板上の連結ボルトに、側板木口穴を合わせて上棚を設置し、回転金具を右に回し、締め付けてください。
- ⚠ 注意 ご使用中に上棚の設置場所をかえる場合には、棚上の物をすべておろして行ってください。また、可動棚は取外してから作業を行ってください。
- ③ 天板高さ2号の時、収納棚の側板・後面板の回転金具が見える状態となりますのでキャップ(回転金具用)を取付けてください。

※ ハイユニットスタイルで上棚を天板下に収納する場合は、側板、後面板に取付いている回転金具が見える状態となる為、キャップ(回転金具用)を取付けてください。(10ヶ所)

5 上棚の使用方法

① 収納棚の使用方法

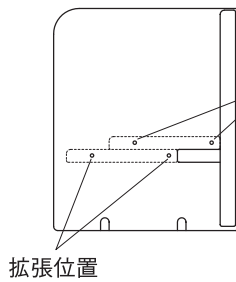
可動棚板は2段階の奥行き調節ができます。

● 奥行拡張の方法

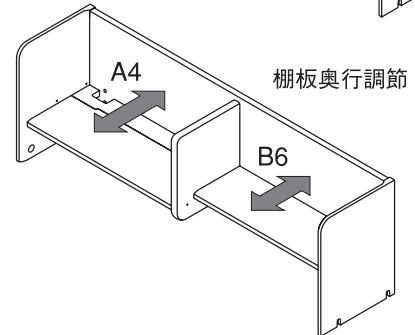
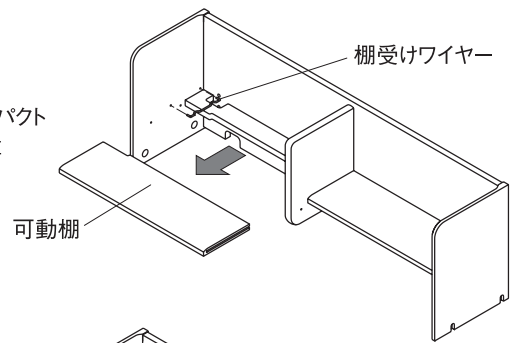
可動棚板及び棚受けワイヤーを取外し、
下段前部に棚受けワイヤーを取付けてください。
棚受けワイヤーに可動棚板の側面木口溝を合わせて、押し入れてください。
・可動棚板を拡張位置にセットすると、棚にA4サイズのもので載せられます。

△注意 可動棚板を取外す場合は、棚上の物をすべておろして行ってください。
落下してケガをする恐れがあります。

棚受けワイヤー取付け位置

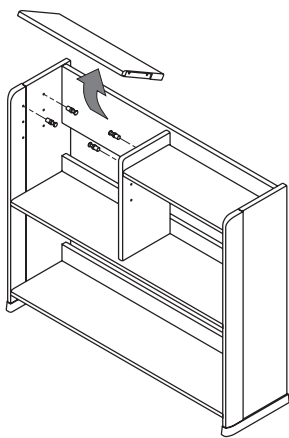


可動棚の取外し

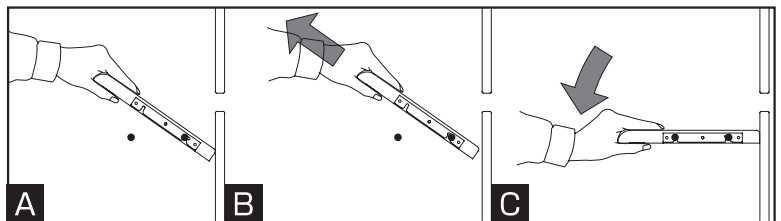


6 収納棚の使用方法

● 収納棚の上段は可動式の棚板となっています。
棚板位置を変更する場合は、「可動棚板の取付け、
取外し方」を読み、手順に従って設置してください。



● 可動棚板の取付け、取外し方



後ろ側のダボに可動棚木口面の固定プレート後ろ側の切欠き部を合わせ、可動棚を上側から落とし込みます **A**。可動棚を手前側に引きながら **B**、可動棚木口面の固定プレート前側の切欠き部を前側のダボに乗せます **C**。可動棚を外す場合は次のように、取付けと逆の手順で行います。

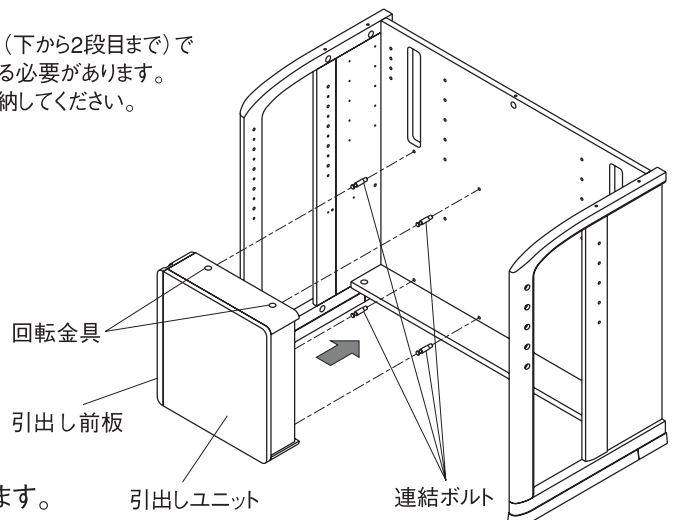
可動棚の前側を持ち上げ、後ろ側に少し押しします。可動棚の全体を上側に持ち上げるように、側板後ろ側のダボから可動棚を抜きます。

7 3段ワゴン引出しユニットの収納方法

※専用3段ワゴンをお買上げのお客さまへ、デスク天板の高さを3号以下（下から2段目まで）でお使いいただく場合、3段ワゴンの引出しユニット（上部引出し）を分割する必要があります。
分割した引出しユニットは図のようにデスクの下棚部左側へ取付けて収納してください。
天板を取付ける前に下のように行ってください。

- ① ワゴンを分割し、引出しユニットと連結ボルトをワゴン本体より外します。
- ② ①で取外した連結ボルト（4本）をデスク后面板のナットにネジ込んでください。
- ③ 引出しの前板が側板（左側）の方を向くように、引出しユニット下側の穴（4ヶ所）に連結ボルトを挿し込むように取付けてください。
- ④ 上部の回転金具（2ヶ所）のみ右に回し締め付けてください。

※ 分割した引出しユニットは、デスクの左側にのみ取付けます。



8 照明の取付け方法

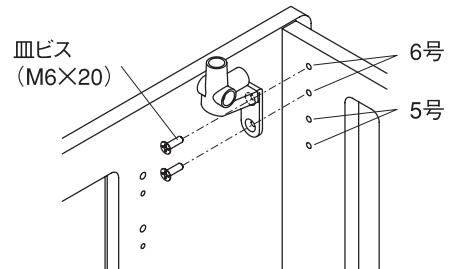
〈デスク天板への取付け方法〉

天板高5号と6号の平机でご使用の場合、照明器具は天板の左右両側に取付けることができます

⚠ 注意 照明器具の取付けは天板取付けの前に行ってください。

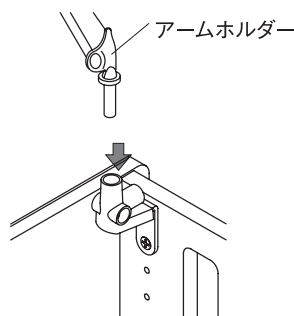
⚠ 注意 本製品では天板取付用クランプは使用しません。

- ①上棚取付金具を本体後面板に固定します。
図の位置に照明付属の上棚取付ビス (M6×20) で2ヶ所締め付けてください。
※5号と6号で上棚取付金具の固定位置が異なりますので、ご注意ください。

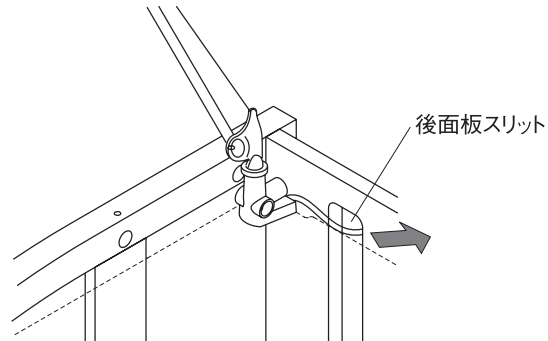


- ②天板を取付けてください。
天板の取付け方法はP6、P7を参照してください。

- ③照明器具のアームホルダーをアーム受材に差し込みます。



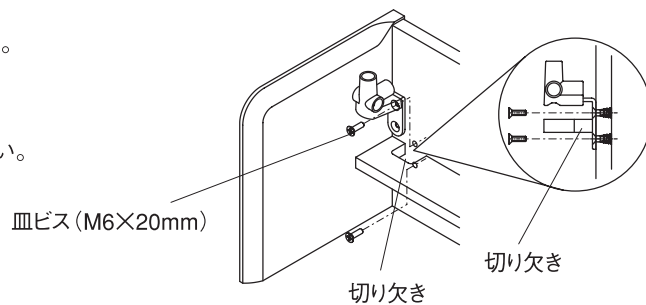
- ④電源コードを後面板スリットから裏側に出してください。
6号の場合、スリットは通さずにそのまま裏側に出してください。



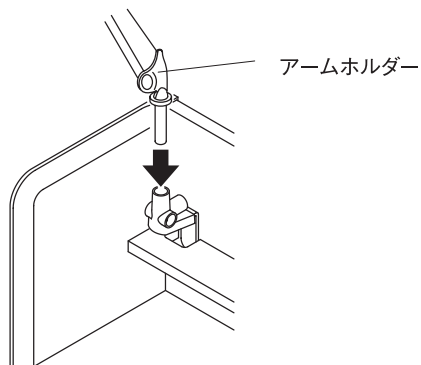
〈上棚への取付け方法〉

照明器具は上棚の左右両側に取付けることができます。

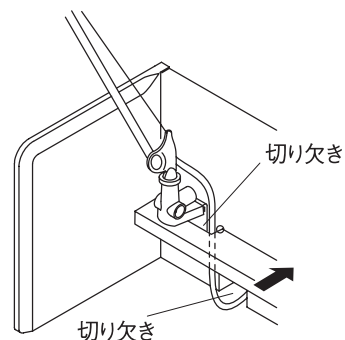
- ①照明器具取付け側の上棚の可動棚を取外してください。
可動棚の取外し方法はP12を参照してください。
- ②上棚用取付金具を図のように切り欠き部に合わせて、
上棚取付ビス (M6×20mm) で2ヶ所締め付けてください。



- ③照明器具のアームホルダーをアーム受材に差し込みます。



- ④電源コードを図のように2ヶ所の切り欠きを通して
デスクの本体裏側に出してください。



- ⑤可動棚を元に戻します。

修理と製品保証について

この度はオカムラ学習家具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この製品は、厳密なる品質管理および検査を経てお届けいたしております。
万一保証期間内(社団法人 日本オフィス家具協会のガイドラインに基づく。)に故障した場合は(お客様購入日よりの指定期間、不具合箇所、現象別表による。)無料にて修理させていただきます。

修理は、お買上の販売店に、必ず本保証書を添えて、ご依頼ください。

所定記入の無い場合は、保証書と一緒に、ご購入先の領収書を保存しておいてください。

保証書

保証期間	不具合箇所・現象の例		期間
	外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・褪色、レザー・クロスの磨耗	1年
	機構部・稼動部	引出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構の故障	2年
	構造体	強度・構造体にかかわる破損	3年
品名	デスク	品番	
お買上日	年 月 日		
おところ			
お名前			
販売店名			

- 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
 - イ)組立・取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかったことが原因での故障。
 - ロ)お買上後の輸送、移動、落下などによる故障。
 - ハ)お買い求めの販売店、もしくは当社以外での修理・改造などによる故障。
 - 火災、塩害、異常電圧、地震、雷、風水害、その他天災地変などによる故障。
 - ホ)本書にお買上げ年月日、販売店等、本保証書所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
 - ヘ)保証書の提示がない場合 ト)消耗部品の交換
- 運賃等の諸経費はお客様にご負担いただく場合があります。
 - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
 - 修理用部品の最低保有期間は、製品の製造中止後5年間とさせていただきます。

尚、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店又は弊社支店あてにお問合せください。

株式会社岡村製作所 〒220-0004 神奈川県横浜市北幸1-4-1 天理ビル19階

良い品は結局おトクです

オカムラ

株式会社 岡村製作所 インテリア製品部

ホームページアドレス <http://www.okamura.co.jp/>

お問い合わせ・ご相談は お客様サービスセンターへ
フリーダイヤル ☎0120-81-9060 月曜～金曜(祝日を除く) 9:00～18:00

T0903-09